



JAPAN FOUNDATION

国際交流基金

報道関係各位
プレスリリース



JAPAN FOUNDATION

2018年2月8日
No. 2017-071-1/3

アジアが注目！国内初のメディアカルチャーの総合的なプラットフォーム MeCA | Media Culture in Asia: A Transnational Platform 明日2月9日（金）より、いよいよスタート！

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターは、インターネット以降の新たな芸術文化の創造・発信を目指し、アジアのメディアカルチャーを紹介する総合イベント「MeCA | Media Culture in Asia: A Transnational Platform」（通称ミーカ）を2018年2月9日から18日の10日間、開催します。

MeCA では、いままさに急速な発展を続けるアジアのクリエイティブシーンに注目し、展覧会、音楽プログラムをはじめ、同時開催となるワークショップやトーク、国際シンポジウムなどを通じ、アジアにおける次世代間の交流・協働を促進していきます。22か国・地域から約65名のアーティストや研究者を迎え、常に新しい文化を発信してきた原宿・表参道・渋谷エリアで展開し、グローバルシーンに深く根ざしたプラットフォームを創出します。

デジタルテクノロジーの創造性をアート、音楽、教育などから見つけ、アジアから発信する日本初の総合イベントとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が近づくにつれ、世界からの注目がよりいっそう高まる東京において、国際的なネットワークはもちろん、アーティストや研究者といった職種や分野間の垣根も越えた交流・参加を促します。

この機会に是非貴媒体でのご紹介ならびに当日のご取材を賜りたく、お願い申し上げます。



開催概要

- 【タイトル】 MeCA | Media Culture in Asia: A Transnational Platform（通称：ミーカ）
- 【会期】 2018年2月9日（金）～2月18日（日）[10日間]
- 【会場】 表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿、Red Bull Studios Tokyo、WWW、WWW X、ほか
- 【主催】 国際交流基金アジアセンター、一般社団法人 Today's Art JAPAN / AACTOKYO
- 【特別協力】 表参道ヒルズ、ラフォーレ原宿、デジタル・ショック / アンステイチュ・フランセ東京
- 【協賛】 寺田倉庫、エキサイト株式会社、日本環境設計株式会社
- 【協力】 株式会社リコー、ゲーテ・インスティトゥート（東京ドイツ文化センター）、一般財団法人 渋谷区観光協会、フォステクス カンパニー、Peatix、株式会社スタジオハル、獺祭、株式会社三陽商会
- 【助成】 公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、アメリカ合衆国大使館
- 【後援】 オランダ王国大使館、渋谷区
- 【URL】 <http://meca.tokyo/>

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム（担当：廣田、鹿島）

Tel: 03-5369-6140 / E-mail: acinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター（担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

実施プログラム

▼展覧会「self-reflexivity: Thinking Media and Digital Articulations」

坂本龍一氏と高谷史郎氏の大規模インスタレーションから、新進のアジアの作家まで。
全作品東京初公開となる展覧会。

会期：2月9日（金）～2月18日（日） 11:00～20:00

（最終日18日（日）は17:00まで／11日（日）は表参道ヒルズ会場のみ18:00まで）

会場：表参道ヒルズ スペース オー、ラフォーレミュージアム原宿

出展アーティスト・作品：

坂本龍一＋高谷史郎「water state 1（水の様態1）」〔日本〕

Guillaume Marmin and Philippe Gordiani「TIMÉE」〔フランス〕

Bani Haykal「眠らない者のネクロポリス」〔シンガポール〕

Tad Ermitaño「Spinning Jimmy v. 2.0」〔フィリピン〕

Kawita Vatanajyankur「SERIES: TOOLS / WORK」〔タイ〕

平川紀道「datum」〔日本〕

Studio The Future - Klara van Duijkeren / Vincent Schipper「Film Fiat Lux」〔オランダ〕

Couch「TRACING SITES」〔日本〕

料金：ワンデイチケット＝1,000円 オールデイパス＝1,800円（会期中何度でも入場可能）
中学生以下は入場料無料



〔上〕 Kawita Vatanajyankur
「SERIES: TOOLS / WORK」(2012年～)
〔下〕 平川紀道「datum」(2017年)

▼音楽プログラム

「Alternative SOUND + VISION」「BORDERING PRACTICE」

日時：2月9日（金）21:00～29:00（開場20:00）

会場：WWW、WWW X ※2会場同時開催

MeCAのオープニングを飾るオールナイトイベント。

13組のアーティストが披露する、インターネット以降の音楽文化と、デジタルテクノロジーによる音響と映像表現。

Alternative SOUND + VISION (WWW)

出演者：Morton Subotnick〔アメリカ〕、Lillevan〔ドイツ〕、Alec Empire〔ドイツ〕、Jacques〔フランス〕、Young Juvenile Youth〔日本〕、Jean-Baptiste Cognet and Guillaume Marmin〔フランス〕、X0809〔タイ〕

BORDERING PRACTICE (WWW X)

プログラムディレクター：tomad (Maltine Records 主宰/日本)

出演者：tofubeats〔日本〕、Meishi Smile〔アメリカ〕、similarobjects〔フィリピン〕、KimoKal〔インドネシア〕、Ryan Hemsworth〔カナダ〕、Meuko! Meuko!〔台湾〕、PARKGOLF〔日本〕

料金：前売＝3,500円（税込、別途1ドリンク代） 当日＝4,500円（税込、別途1ドリンク代）
※MeCAパスをお持ちの方は 当日受付にて¥500キャッシュバックいたします。



〔上〕 左：Morton Subotnick, Lillevan, Alec Empire
右：Young Juvenile Youth
〔下〕 左：tofubeats 右：KimoKal

主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム（担当：廣田、鹿島）

Tel: 03-5369-6140 / E-mail: acinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ：コミュニケーションセンター（担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

同時開催【入場無料】

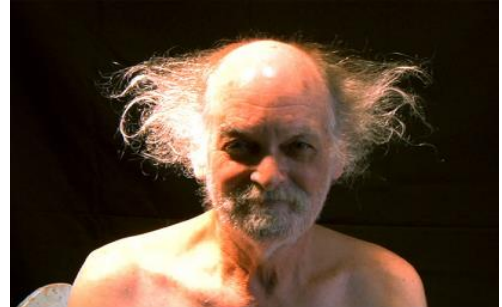
▼公募型ワークショップ「BioCamp: Gardens as 'Biotechnik」

会期：2月10日（土）～17日（土）※参加者の募集は締め切りました。

会場：Red Bull Studios Tokyo、BioLab Tokyo/FabCafe MTRL

「バイオテクノロジーとアート」をテーマにした8日間の集中ワークショップ。
世界各地の専門機関からアーティストや研究者約30名が集結。

プログラムディレクター：Andreas Siagian (Lifepatch) [インドネシア]、
Georg Tremmel (BioClub、BCL) [オーストリア、日本]、
石塚千晃 (BioClub、Loftwork)



[上] 参考画像：BioClubによるワークショップの様子
写真提供：BioClub

[下] Joe Davis (アーティスト、哲学者)

公開イベント

会場：Red Bull Studios Tokyo 入場無料 (要 MeCA チケット)

モデレーター：Georg Tremmel (アーティスト、BCL)

●2月12日 (月・振休) 19:00-21:00

映画上映+トークイベント「HEAVEN + EARTH + JOE DAVIS」

ゲスト：Joe Davis (アーティスト、哲学者)、
Peter Sasowsky (監督 / プロデューサー)

●2月15日 (木) 19:00-21:00 **SymbioticA・Ionat Zurr 氏スペシャルトーク**

ゲスト：Ionat Zurr (アーティスト、研究者 / 西オーストラリア大学 SymbioticA)

●2月16日 (金) 19:00-21:00 **Joe Davis 氏 スペシャルトーク**

ゲスト：Joe Davis (アーティスト、哲学者)

●2月17日 (土) 13:00-16:00 **「BioCamp: Gardens as 'Biotechnik」公開プレゼンテーション**

出演者：「BioCamp: Gardens as 'Biotechnik」参加者

ゲスト：Joe Davis (アーティスト、哲学者)、Ionat Zurr (アーティスト、研究者 / 西オーストラリア大学 SymbioticA)、
Günter Seyfried (アーティスト / pavillon_35)、Thomas Landrain (バイオハッカー、実業家 / Just One Giant Lab、PILI、
ラ・パイヤス)

▼国際シンポジウム「“アート&テクノロジー” —創造・教育・アーカイブのために—

日時：2月11日 (日・祝) 10:00～16:00 会場：東京ウィメンズプラザ

メディアアートを通じた創作、教育、研究開発の国際的な状況と、情報化社会における芸術文化のプラットフォームのあり方を考える2部構成のシンポジウム。

※日英同時通訳 定員：250人 入場料：無料 (要事前申込)

登壇者：赤岩やえ (アーティスト/exonemo)、Tengal (WSK 2017 Festival ディレクター) [フィリピン]、
菅沼聖 (山口情報芸術センター [YCAM] エducator)、Jos Auzende (La Gaîté Lyrique キュレーター) [フランス]、
Julia Sarisietati (OK. Video 2017 キュレーター) [インドネシア]、Aria Dean (New Museum 附置 Rhizome アシスタント・キュレーター) [アメリカ]

主催：国際交流基金アジアセンター、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

※このほか教育普及プログラムやトークイベントも開催。

プログラムの詳細や、チケットの購入方法は公式サイトをご参照ください。

公式サイト：<http://meca.tokyo/>

主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム (担当：廣田、鹿島)

Tel: 03-5369-6140 / E-mail: acinfo@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ：コミュニケーションセンター (担当：熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp